

高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）

1 新校の教育方針

- ・ 子どもたちの学習・生活の場として、義務教育 9 年間を通して、それぞれの特性・能力が発揮され、豊かな感性を磨き、たくましく生きる力と強い体を育む。
- ・ 高円寺地域の特性を生かし、地域全体を「学び舎」と捉え、職場体験活動やボランティア活動などの様々な体験を通して、社会とかわる力を育む。
- ・ これまで培ってきた、就学前教育との連携、環境教育、リーダーシップを育む教育、地域密着型のキャリア教育など、3 校の優れた教育の特色を継承・発展させる。

2 豊かな人間性を育む学習環境の整備充実

- ・ 杉並らしいみどり豊かな、自然に触れあえ、季節感を感じられる教育環境を確保する。
- ・ 運動習慣の確立と体力・運動能力の向上を図るため、校庭、体育館、プール、屋上運動スペースなど、9 学年の子どもたちが可能な限り、体を鍛え、スポーツができるスペースを確保する。
- ・ 習熟度別・少人数指導などの個に応じたきめ細かい指導の充実を図るための教室・設備を整備する。
- ・ 子どもたちの交流、未就学児や地域の方との交流の場となるランチスペースを設置する。
- ・ 特別な支援を必要とする子どもを含め、個々の教育的ニーズに対応した支援が可能となる特別支援教室やクールダウンスペース等を設置する。

3 安全性が高く、地域防災の拠点となる学校

- ・ 防災性・防犯性を備え、子どもたちにとって安全で安心できる居心地の良い学校。
- ・ 児童の放課後の安全と良好な育成環境を確保した学童クラブを設置する。
- ・ 地震等の非常災害時に、地域の避難場所、復旧拠点として十分な防災機能を備えた校舎とする。
- ・ 災害時には地域の高齢者等も利用することも配慮し、だれもが利用しやすいユニバーサルデザインの校舎とする。

4 地域力を生かし、地域と共に歩む学校

- ・ 保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と一体となり子どもを育てていくために、「学校支援本部」や「学校運営協議会」など、学校を支える人たちの活動スペースを設置する。
- ・ 高円寺地域が持つ地域力（教育力）を学校運営に最大限生かしていくために、子どもたちと大人が触れ合い、互いに学び、成長する場として活用できる多目的スペースを設置する。

5 杉並第四小学校跡地を活用した学習環境等の高度化・多機能化

- ・ 教育内容、指導方法を見越した機能水準を備えた教室を整備・活用し、各学年の時程を工夫しながら、新校における特色ある教育活動を展開していく。
- ・ 子どもたちが太鼓、琴、阿波踊りの練習が行える防音設備が整備された多目的室を設置する。
- ・ 教室、校庭・体育館等を活用し、クラブ活動や部活動を地域と共に行い、人とのつながりを深めていくとともに、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する拠点としていく。
- ・ 地域イベント活動など、子どもたちや地域の人たちが生き生きと活動できる地域コミュニティの拠点となるスペースを整備する。